

PARARIA体験記 pdf

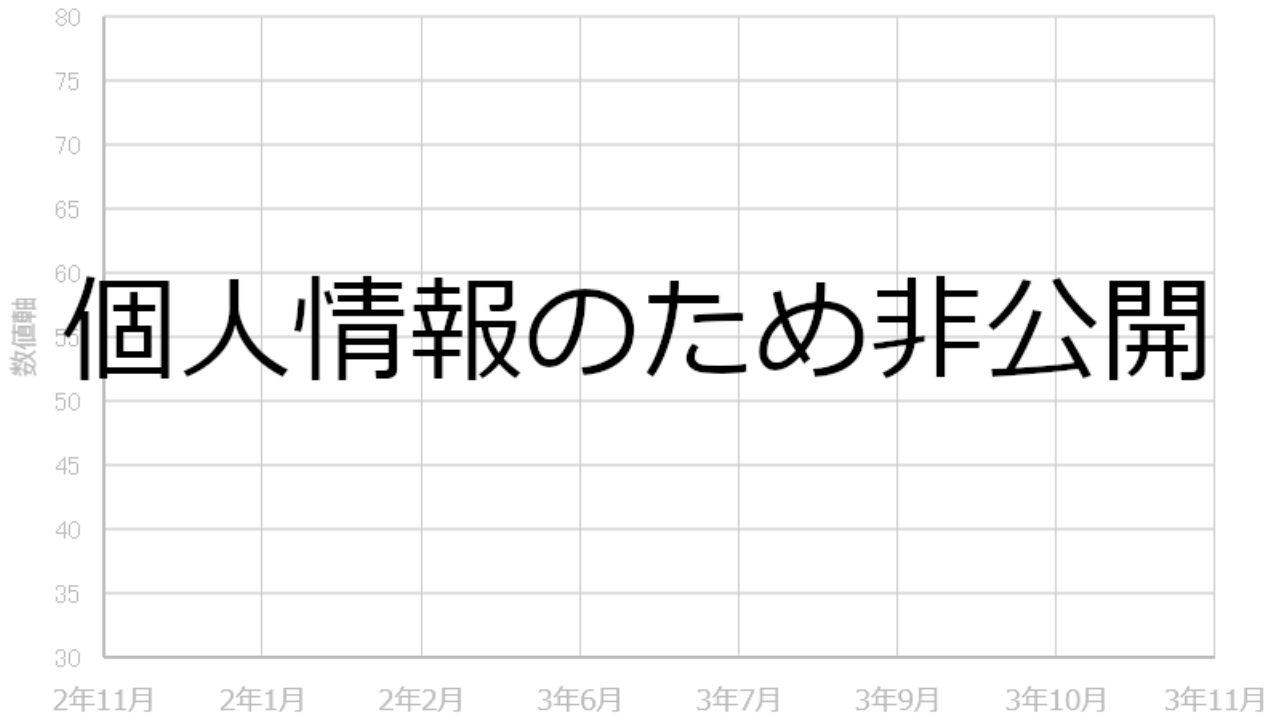


春日部東高等学校 T.Sさん

目次	
1. 基本情報	1-1 高校 (p3) 1-2 性別 (p3) 1-3 文理選択 (p3) 1-4 希望進路 (p3) 1-5 進学先 (p3) 1-6 模試の成績推移 (p3)
2. PARARIA 入会前の学習状況	2-1 生活習慣 (p4) 2-2 勉強時間 (p4) 2-3 モチベーション (p4) 2-4 家での過ごし方 (p4) 2-5 友達との付き合い (p4) 2-6 1日のスケジュール (p4~5)
3. PARARIA 入会後の学習状況	3-1 生活習慣 (p6) 3-2 勉強時間 (p6) 3-3 モチベーション (p6) 3-4 家での過ごし方 (p6) 3-5 友達との付き合い (p6) 3-6 1日のスケジュール (p6~7)
4. 各科目の各勉強法の推移	4-1 英語 (p8~9) 4-2 数学 (p10~11) 4-3 物理 (p12~13)
5. 志望校に関する意識の推移	5-1 高校1年生 (p14) 5-2 高校2年生 (夏) (p14) 5-3 高校2年生 (冬) (p14)
6. 家族とのやり取り	6-1 接し方 (p15) 6-2 もらったサポート (p15) 6-3 もらいたかったサポート (p15)

1. 基本情報	
1-1 高校	春日部東高等学校
1-2 性別	男性
1-3 文理選択	理系
1-4 希望進路	早稲田大学先進理工応用物理科
1-5 最終進路	明治大学理工学部電気電子生命学科
1-6 模試の成績推移	以下にグラフを示す。

成績の推移



2. PARARIA 入会前の学習状況	
2-1 生活習慣	<p>午前 7:00 起床。午後 12:00 就寝。</p> <p>朝食は、パン一枚とココア。</p> <p>ハンドボール部に入っていたので、平日は午後 7:30 頃に終了し、休日は午前 11:30 頃に終了。平日、休日ともに部活動を全うした後はひたすらにゲームに時間を割いていた。</p>
2-2 勉強時間	平日：0 秒 休日：0 秒
2-3 モチベーション	<p>高校 1 年生までは、成績はかなりよく、高校 1 年生の秋頃に、“東京大学に行きたい！”という意識が芽生えた。そして、高校 1 年生の 3 学期が終わる頃に、塾に入れて欲しいと親に頼んだが、「まだ早いんじゃない？」と言われ、塾に入ることを反対され、勉強に対する活力を失った。そうして、高校 2 年生の定期テストでは、“赤点を取らないように頑張ろう（30 点以上取ればいっか！）”という意識になった。</p>
2-4 家での過ごし方	<p>ひたすらゲームをしていた。</p> <p>詳しく説明すると、Minecraft (pe) のマルチプレイができるゲームアプリで自分が作ったサーバーを公開して遊んでいた。</p>
2-5 友達との付き合い	部活の友達とは、ご飯を食べに行ったり、ポケモン GO!をしていたが、クラスの人とはそういう事はなかった。
2-6 1 日のスケジュール 平日	<p>午前 7:00 起床。午後 12:00 就寝。</p> <p>平日は午後 7:30 頃に部活動が終了し、帰ってからは、ひたすらにゲームに時間を割いていた。</p>
休日	<p>午前 7:30 起床。午後 12:00 就寝。</p> <p>平日は午前 11:30 頃に部活動が終了し、帰ってからは、ひたすらにゲームに時間を割いていた。</p>
	次ページに具体的なスケジュールを示す。

1日のスケジュール		
時間	平日	休日
0:00	睡眠	睡眠
1:00	↓	↓
2:00	↓	↓
3:00	↓	↓
4:00	↓	↓
5:00	↓	↓
6:00	↓	↓
7:00	起床	起床
8:00	学校	部活
9:00	↓	↓
10:00	↓	↓
11:00	↓	↓
12:00	↓	↓
13:00	↓	MINECRAFT
14:00	↓	↓
15:00	↓	↓
16:00	↓	↓
17:00	↓	↓
18:00	↓	↓
19:00	夕飯、風呂	夕飯、風呂
20:00	MINECRAFT	MINECRAFT
21:00	↓	↓
22:00	↓	↓
23:00	↓	↓

3. PARARIA 入会後の学習状況	
3-1 生活習慣	午前 7:00 起床。午後 12:00 就寝。 朝食は、お米と味噌汁。
3-2 勉強時間	平日：3 時間 休日：8 時間
3-3 モチベーション	自分のレベルや好みに合わせて参考書を選んでもらったので、偏差値 30 程度だった僕でも、1 冊の参考書があつという間に 5 周、6 周と回せるので、勉強が楽しめるようになった。それに加え、成績が面白いように伸びたので、自習の凄さを実感し、勉強の楽しさにのめり込んで行った。
3-4 家での過ごし方	PARARIA に行っているだけで喜んでいるように思えた。家にいる時は、家族と話す時間が増えたように思えた。
3-5 友達との付き合い	友達との付き合いは、面白いほど変わっていった。僕が、数学の定期テスト（120 点満点）で、115 点を取り学年 1 位になったり、模試で学年 1 位を取ったりしているうちに、周りの人たちの僕に対する接し方が激変した（笑）。例えば、今まで、僕をいちいちバカにした人が僕と関わらなくなったり、成績が伸び悩んでる人が僕に勉強相談をして欲しいとお願いされたりなどなど色々変わりました。ただ良いことばかりではありません。それだけプレッシャーものし掛かります。
3-6 1 日のスケジュール 平日	A{[2017.2 月～8 月]午前 7:00 起床。午後 12:00 就寝。} B{[2018.9 月～]午前 4:30 起床。午後 10:30 就寝。}
休日	A{[2017.2 月～8 月]午前 7:00 起床。午後 12:00 就寝。} B{[2018.9 月～]午前 4:30 起床。午後 10:30 就寝。}
	次ページに具体的なスケジュールを示す。

1日のスケジュール				
時間	A 平日	B 平日	A 休日	B 平日
0:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
1:00	↓	↓	↓	↓
2:00	↓	↓	↓	↓
3:00	↓	↓	↓	↓
4:00	↓	起床、朝食	↓	起床、朝食
5:00	↓	PARARIA	↓	PARARIA
6:00	↓	↓	↓	↓
7:00	起床、朝食	↓	起床、朝食	↓
8:00	学校	学校	PARARIA (移動)	↓
9:00	↓	↓	PARARIA	↓
10:00	↓	↓	↓	↓
11:00	↓	↓	↓	昼食
12:00	↓	↓	昼食	PARARIA
13:00	↓	↓	↓	↓
14:00	↓	↓	↓	↓
15:00	↓	↓	↓	↓
16:00	PARARIA	PARARIA	↓	↓
17:00	↓	↓	↓	↓
18:00	↓	↓	↓	↓
19:00	↓	↓	↓	↓
20:00	↓	↓	↓	↓
21:00	↓	夕食、風呂	↓	夕食、風呂
22:00	↓	睡眠	↓	睡眠
23:00	夕食、風呂	↓	夕食、風呂	↓

4. 各科目の勉強法の推移	
4-1 英語	
単語	『勉強場所=ブーストスペース』 "ターゲット1900"の英単語を歩きながら音読して覚えた。1～1500は、1ヶ月で10周した（高校2年生の2月には終了した）。それ以来、英単語はやっていない。
文法	『勉強場所=カフェスペース、ブーストスペース』 初めは、カードを使って覚える参考書を使っていたが、僕は、使い心地が悪かったので、"文法語法1000"という参考書に切り替え、その参考書の解説をカフェスペースでひたすら読んだ。8周はした。
長文	1、『勉強場所=ブーストスペース』 "キムタツ式シリーズ"と"リングメタリカ"の英文を WORKMAN に入れて、最終的に元々の1.75倍速で読めるまで音読した。リングメタリカは4周した。 2、『勉強場所=フロースペース』 "ディスコースマーカー"を本の取り扱い説明の通りにやった。1周だけした。
反省	英語の反省としては、ターゲット1900を1ヶ月で完璧にしたことが良かったのかなと思います。英文音読は、僕の英語力にとっても良い影響を与えてくれたと思います。
	次ページに具体的なスケジュールを示す。

英語の月間参考書の推移			
月	単語	文法	長文
2	ターゲット1900		キムタツ式（入門）
3		文法語法1000	↓
4		↓	キムタツ式（基礎）
5		↓	↓
6		↓	リンガメタリカ
7		↓	↓
8		↓	↓
9		↓	↓
10		↓	↓
11		↓	↓ ディスコースマーカー 赤本
12		↓	↓ ↓ ↓
1		↓	↓ ↓ ↓
2		↓	↓ ↓ ↓

4. 各科目の勉強法の推移

4-2 数学

まず、数Ⅲから本格的に勉強し始めた。

数Ⅲは、“学校の教科書”と“青チャートⅢ”を使った。勉強している最中に、数Ⅰ・A、Ⅱ・Bの知識が必要な問題が出てくるので、その時は“マセマの初めから始めるシリーズ”で対応した。つまり、数Ⅰ・A、Ⅱ・B、Ⅲの基礎的なところは同時平行でこなしていた。

次に数Ⅱ・Bの強化の為に“センター数Ⅱ・Bが面白いほど解けるようになる”という参考書をやった。

それらを終えた後は“理系数学の良問プラチカ”という参考書をやった。

“理系数学の良問プラチカ”は5周以上した。1、2周目は意味が分からなかったが3、4周目に解法を理解し5周目に本番で使えるようになった。

ちなみに3周目からは、1問5分以内で解けるまで次の問題へ行ってはだめ！というルールを自分で作った。

“理系数学のプラチカ”を5周した後は、すでにその問題集の解法は、暗記していた。

“プラチカ”をこなした後は、数Ⅰ・A、Ⅱ・B、Ⅲを全て網羅している“チャート式30”という参考書をやった。

これは、テーマが30個に分かれていて、参考書としての完成度が最も素晴らしいと感じた一冊だった。

“チャート式30”は、各テーマの最後にある exercise（教科書でいう章末問題）の問題だけをやった。これもまた、“プラチカ”同様に1、2周目は意味が分からなかったが、3、4周目に解法を理解し、5周目に本番で使えるようになった。3周目からは、1問5分以内で解けるまで次の問題へ行ってはだめ！という制約を自分で作った。

“チャート式30”と同時に“マセマの理系頻出レベルⅠ・A、Ⅱ・B、Ⅲ”をやった。これも“プラチカ”と同様のやり方で行った。

数学の反省としては、夏休みまでに基礎知識を網羅できていたことが良かったのかなと思います。このおかげで、プラチカに取り組みやすくなったのかなと思います。

反省	<p>数学が劇的に伸びた要因としては、最初の参考書として、“マセマの初めから始めるシリーズ”を使ったことだと思います。この参考書を最初に使ったことで、「学校の先生って、数学の授業でこんな簡単な事を説明してたんだ！」って思い始めてからは、数学の成績はガンガン上がって行きました。この数学の事例は、全ての科目に通じるものなんですよ。僕の個人的な感覚としては、苦手意識を払拭するだけで周りの受験生よりも遥かに優位に立てると思いました。</p>
	<p>以下に具体的なスケジュールを示す。</p>

数学の月間参考書の推移	
月	
2	教科書（数Ⅲ）、青チャートⅢ、初めから始める（Ⅰ、A）
3	教科書（数Ⅲ）、青チャートⅢ、初めから始める（Ⅱ、B）
4	教科書（数Ⅲ）、青チャートⅢ、初めから始める（Ⅰ、A、Ⅱ、B）
5	センター数Ⅱ・Bが面白いほど解けるようになる
6	センター数Ⅱ・Bが面白いほど解けるようになる
7	理系数学の良問プラチカ
8	理系数学の良問プラチカ
9	チャート式30、マセマの理系頻出レベルⅠ・A、Ⅱ・B、Ⅲ
10	チャート式30、マセマの理系頻出レベルⅠ・A、Ⅱ・B、Ⅲ
11	チャート式30、マセマの理系頻出レベルⅠ・A、Ⅱ・B、Ⅲ
12	赤本
1	赤本
2	赤本

4. 各科目の勉強法の推移

4-3 物理	<p>物理に関しては、公式を書いてみようと思っても、mghしか書けなかった状態からスタートした。</p> <p>まず、“ワクワク探検隊（力学、熱力学、波動）”をやった。この参考書は、衝撃を受けた一冊だった。なぜかという、分かり易すぎて勉強をしてないような感覚になったからだ。この参考書は、PARARIAのブーストスペースで横になりながら読むこともあった。結局、3周した。</p> <p>次は、“ワクワク探検隊（電磁気）”をやった。これは前にやった参考書の続編なのでなかなか楽しかった。</p> <p>基礎固めを、終えた後は、“名門の森シリーズ”をやった。これは、“プラチカ”と同じやり方（1、2周目は意味が分からなかったが、3、4周目に解法を理解し、5周目に本番で使えるようになった。ちなみに3周目からは、1問5分以内で解けるまで次の問題へ行ってはだめ！というルールを自分で作った。）でこなした。</p> <p>物理の反省としては、“プラチカ”で利用した勉強法を物理の勉強に転用する工夫ができて良かったと思います。</p>
反省	<p>数学と同様に“ワクワク探検隊”が物理に苦手意識を持っていた僕の苦手意識を払拭してくれたので、後は楽しみながら物理を勉強させていただきました（笑）。</p>
	<p>次ページに具体的なスケジュールを示す。</p>

物理の月間参考書の推移	
月	
2	
3	
4	
5	
6	“ワクワク探検隊(力学、熱力学、波動)”
7	“ワクワク探検隊(電磁気) ”
8	“ワクワク探検隊(力学、熱力学、波動)”、“ワクワク探検隊(電磁気) ”
9	名門の森 (力学、熱力学、波動)
10	名門の森 (力学、熱力学、波動) 、名門の森 (波動、電磁気)
11	名門の森 (力学、熱力学、波動) 、名門の森 (波動、電磁気)
12	赤本
1	赤本
2	赤本

5. 志望校に関する意識の推移	
5-1 高校1年生	実際、僕が本気で勉強したら東京大学に行けるのかどうか試してみ たかった。（志望校：東京大学）
5-2 高校2年生 （夏）	学校の成績が落ち込み、志望校もそれに応じて、変化して行った。 僕の兄が東京都市大学に通っていたので、とりあえず東京都市大学 を目指そうと決めた。（志望校：東京都市大学）
5-3 高校2年生 （冬）	浅見先生に、「今からならどのレベルの大学まで行けますか？」と 尋ねたところ、「早稲田までいけるよ。」と返されたので、早稲田 大学を目指すことに決めた。（志望校：早稲田大学）
5-4 高校3年生	志望校が早稲田大学から変わることはなかった。

6. 家族とのやり取り	
6-1 接し方	親は、僕がパラリアに行くだけで喜んでいました。おそらく、勉強に励んでいる様子を見られて嬉しかったのかなと思います。父親は、僕の学習状況やパラリアについて言及することはなく、対照的に母親は、僕の学習状況やパラリアについて言及してきました。言及というのは、別に悪い意味ではありません。それだけ、気にかけてくれていたんだと思います。父親も心配しすぎて、勉強関連のことを言及しなかったんだと思います。たぶん (笑)
6-2 もらったサポート	PARARIA の費用 (会員費、参考書代、文房具など)
6-3 もらいたかったサポート	春日部温泉の回数券 (365 日分の回数券 (笑))